

(5) 参加と協働

①自主的な活動の育成・支援

◆堺市環境活動表彰

持続可能な社会を構築する諸活動を実践し、環境活動推進に顕著な功績のあった個人又は企業等に対し表彰を行う「堺市環境活動表彰」を実施し、平成23年度は、下記の受賞者に対し表彰を行いました。

平成23年度 第3回堺市環境活動表彰受賞者(敬称略)

西川雅規：河川環境の保全・復元を目的とした、水質浄化作用のある植物「ヨシを使った葦船づくりの指導や大和川での清掃活動等

薬師寺秀子：堺エコロジー大学運営会議等への参画のほか、独自に発案した廃傘から作るエコバッグ等の環境保全グッズを使った小学校や各種イベントにおける講習会等での啓発活動

堺市立土師小学校：堺市教育委員会の環境教育プログラムの実施のほか、校内でのグリーンカーテンやピオトープの設置、米作り等による環境活動への取り組み

堺・泉北臨海企業連絡会：参加企業9社による一斉清掃活動やイベント等での環境クイズの実施、臨海部へのごみ投棄防止啓発ステッカーの配布等の啓発活動

②環境教育・学習の推進

◆堺市環境教育基本方針

「第2次堺市環境基本計画」に規定した環境教育の推進を図るため、平成21年5月に、持続可能な開発のための教育（ESD）の視点を取り入れた「堺市環境教育基本方針」を策定しました。

★ESDとは

「持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）」の頭文字をとったもので、地球上の資源の有限性を認識し、新しい社会秩序を形成していく、地球的な視野を持つ人材の育成をめざした教育のことで、その範囲は、環境、福祉、平和、開発、ジェンダーなど多岐にわたります。

◆堺エコロジー大学

低炭素都市「クールシティ・堺」実現のため、市民、NPO団体、企業、大学等と連携し、環境人材育成の仕組みとして、平成22年10月に「堺エコロジー大学」を開校しました。平成23年度は、「堺のごみ学習ツアー」や「紙すき体験」など、子どもから大人まで幅広い層を対象とした一般講座を136講座開催しました。同年10月には大阪府立大学との連携による「専門コース」を2コース新設しました。

また、堺エコロジー大学の理念に賛同し、積極的に講座の実施や講師等として参加いただける個人や団体が「エコ大パートナー」として協力・活躍しています。

平成24年度からは、専門コース修了生への活躍の場を提供することを目的とした「堺エコロジー大学サポーター（エコ大サポーター）登録制度」を設置し、環境共生のまちづくりを支える人材の育成に向けた取組みを進めています。



◆イベントでの普及啓発

私たち一人ひとりの行動が環境問題と深く関わりを持つことを認識してもらうために、身近な環境問題から地球規模の環境問題まで市民とともに楽しみながら学ぶ機会として、イベントでのブース等を活用し、啓発活動を実施しています。平成23年度は各区民まつり等において、各種パネル・リサイクル製品の展示やリサイクル工程の紹介など、ごみの減量化・資源化の啓発を行いました。

◆堺市環境学習副読本「わたしたちと環境」

堺の自然やごみ処理、地球温暖化問題等の内容を掲載した、環境学習副読本「わたしたちと環境」(平成23年度版)を作成し、市内小学校4年生全員に配布し、環境教育の教材としています。



環境学習副読本「わたしたちと環境」

◆友好都市東吉野村と連携した環境活動

平成22年4月、本市と友好都市である奈良県東吉野村は、東吉野村の森林保全をめざし、「東吉野村美緑（みりよく）の森づくり事業」を創設しました。本事業は、東吉野村の森林が近畿地方の重要な水源地であるとともに、CO₂の森林吸収に貢献するなど重要な財産であることから、森林の保護を目的に、企業やNPO、地域住民団体や学校等が社会貢献活動として森づくりを行うもので、この事業の趣旨に賛同したコスモ石油株式会社堺製油所は、平成22年5月に東吉野村と「コスモの森づくり協定」を締結しました。



「コスモの森づくり」協定締結式

コスモ石油株式会社堺製油所は、活動計画書に基づき、村有林約1haで間伐など里山保全活動を展開しており、平成23年度は6月と10月の計2回活動を行いました。

参加者は、現地で吉野中央森林組合のサポートにより間伐作業を行い、その際出た間伐材を活用し椅子やハシゴの作成などの木工作業を行いました。



「コスモの森づくり」活動の様子